

令和2年度 広島県がん診療拠点病院間 PDCAサイクル確立事業

「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた
意思決定支援」に関する取り組み

2021年7月19日（月）
地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院

索引

- I. 実施背景、目的
- II. 実施対象
- III. 実施方法
- IV. 実施内容
 - IV-1. アンケート結果
 - IV-2. 課題についての分類と考察 (P・D・A)
 - IV-3. 課題についての他者評価 (C)
- V. 結語
- VI. 各施設のPDCAサイクル実施計画・管理表

I. 実施背景、目的

(背景)

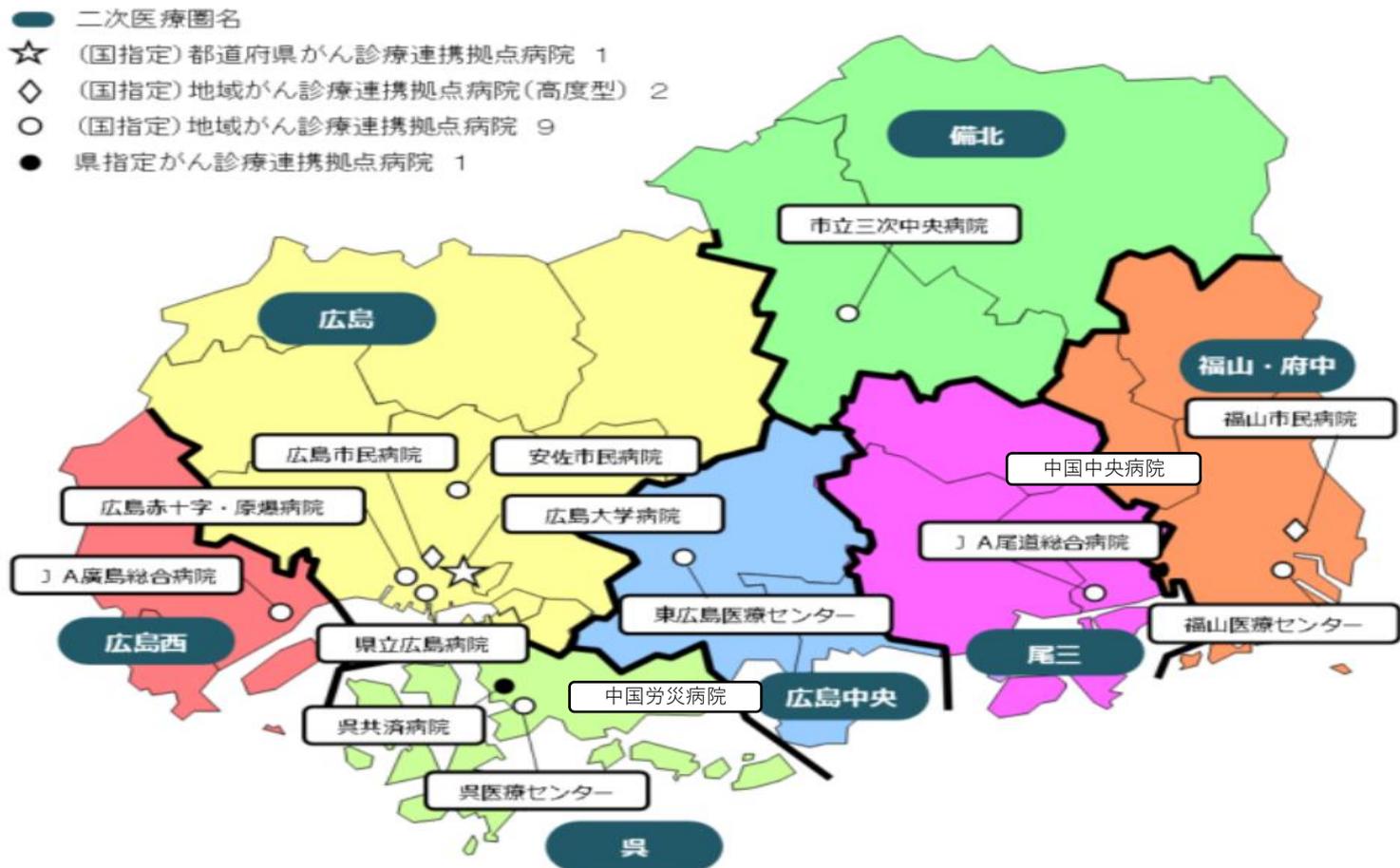
広島市民病院では A C P 普及を目的に、令和元年度に院内職員と地域医療従事者を対象に「A C P 研修会」を実施した。その後、「A C P に関する認知度調査アンケート」を院内職員に行った。調査結果では、A C P の普及は十分でないという状況が明らかとなった。

(目的)

各病院の取り組みを共有することで、各病院、県全体の A C P 実践レベルの向上を図る。

Ⅱ. 実施対象

広島県がん診療連携拠点病院（国及び県指定）及びそれに準ずる **15施設**



R2年度 広島県がん診療連携拠点病院
PDCA事業（広島市民病院）

Ⅲ. 実施方法

| 時期 | 内容 |
|-----------|---|
| R2/7/27 | 「令和2年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル確立事業について」の説明と依頼 |
| 7/28 | 「ACPを含めた意思決定支援に関するアンケート」の実施 |
| 8/28 | 「実施計画・管理表」 |
| 9/18 | 実施計画（P） |
| 9/18～1/31 | 実行（D） |
| R3/2/12 | 他施設の評価（C） |
| ～3/29 | 各施設の改善（A） |
| ～7/2 | 全体のとりまとめ |

IV. 実施内容

IV-1. アンケート結果

IV-2. 課題についての取り組み (P・D・A)

IV-3. 課題についての他者評価 (C)

Ⅳ－1. アンケート結果（まとめ）

「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援に関する」アンケート

2020年7月 回収率93%

1 教育

- ・ 自施設でのACPの研修会は、57%の施設が開催していた
- ・ 院外研修の参加は、29%であった

2 組織・広報

- ・ ACPに特化した組織をもつ施設は全体の29%であった
- ・ 患者が意思決定困難で代理決定者が不在な場合、法的・倫理的側面を相談できる組織は、全体の86%であった

3 実践

- ・ ACP手順書、バットニュースの伝え方の手順書の作成は7%であった
- ・ 「広島県地域対策協議会作成のパンフレット（私の心づもり）」は全施設で活用（100%）
- ・ オリジナルで別パンフレットを使用している施設もあった。

IV. 実施内容

IV-1. アンケート集計結果

IV-2. 課題についての取り組み (P・D・A)

IV-3. 課題についての他者評価 (C)

課題に対する取り組み

15病院のPDCAサイクル実施計画管理表から課題に対する取り組みを次の3つに分類した。

1. 院内教育
2. 院内組織・基準の整備
3. 地域への広報

各項目別に問題点(P)・実行(D)・改善(A)を抽出しまとめた。

1. 院内教育 問題点 (P)

| 実施計画における問題点(P) | 施設数 |
|----------------|-----------|
| 1. 医療従事者の知識不足 | 11 |
| 2. 研修会への参加率が低い | 1 |
| 3. ACPの周知が不十分 | 1 |
| 4. 指導者の育成 | 1 |

1. 院内教育 実行 (D)

2021年3月まで

| 実行 (D) | 施設数 |
|-----------------------------|-----|
| 1 .ACPの研修を開催した | 6 |
| 2 .e-field研修会への参加ができた | 2 |
| 3 .看護協会配信のWEB研修に参加した | 1 |
| 4 .多職種を対象に緩和ケアコース研修会を開催した | 1 |
| 5 .研修会開催の広報を多数行い参加率を上げた | 1 |
| 6 .看護師対象に事例検討を実施した | 1 |
| 7 .日常面談においてACPを話題に挙げながら面談する | 1 |
| 8 .私の心づもりを全職員で共有するように準備中 | 1 |
| 9 .ACPの認知度に関するアンケートの実施 | 2 |

* コロナ禍のため研修計画のみで開催出来ていない施設が複数あり

1. 院内教育 改善 (A)

改善 (A)

1. 研修会をハイブリットやWEBで運営する
2. 研修会を収録し都合の良い時間に視聴できるように電子カルテ内の研修システムに動画を登録する
3. 研修後にアンケートを行い評価する
4. 緩和ケアリンクナースの教育
5. 看護管理者への教育
6. e-fieldの学びをフィードバックする

★ 教育機会の提供、研修対象者の拡大、外部研修の伝達講習

1. 院内教育 まとめ

1. 各施設の**ACP**の教育機会が増えた
2. 教育機会の方法の検討や工夫がされている
3. 研修対象者を拡大するように検討している
4. 外部研修受講者の伝達講習が望まれる

2. 院内組織・基準の整備 問題点 (P)

| 実施計画における問題点(P) | 施設数 |
|-------------------------------|-----|
| 1. ACPを推進する組織がない | 2 |
| 2. ACPに関する情報を共有するツールがない | 1 |
| 3. 記載方法が統一されていない | 1 |
| 4. 意思決定支援に関する指針を活用した行動がとれていない | 1 |

2. 院内組織・基準の整備 実行 (D)

2021年3月まで

| 実行 (D) | 施設数 |
|---|-----|
| 1.ACP普及のためのワーキンググループを結成した | 2 |
| 2.組織の構成員・WGの開催方法について検討している | 1 |
| 3.院内運用手順を周知し、入院時の案内冊子と共にACPの案内用紙を配布→相談が複数あり→私の心づもりを渡した | 1 |
| 4.生活しやすさ質問票にACPの項目を追記した | 1 |
| 5.私の心づもり*を各部署に常備した*広島県地域保健対策協議会制作 「ACPの手引き 豊かな人生とともに ～私の心づもり～」 | 1 |
| 6.患者・家族からACPに関する文書を受け取ったら必要に応じてカンファレンスを行う（これらを含む運用手順を作成） | 1 |
| 7.ACP情報共有ツールを作成しパイロット運用 →聞き方マニュアルを作成→広報、周知した | 1 |
| 8.ACPの記録には電子カルテの付箋機能の使用を検討した | 1 |

2. 院内組織・基準の整備 改善 (A)

| 改善 (A) |
|--|
| 1.ACPに関する相談窓口の紹介 (ホームページ・ポスター) |
| 2.診療科別、外来、入院別の実績を集めて評価・分析を行う (聞き方マニュアルの随時改訂に役立てる) |
| 3.引き続き組織づくりに取り組む |
| 4.「生活のしやすさに関する質問票」の課題を明確にし、取り組む |
| 5.電子カルテの付箋内容を確認し、活用できるか評価する |

2. 院内組織・基準の整備 まとめ

1.ACPを推進する組織を設置

事前アンケートでは、推進組織の設置は4施設（29%）だったが、新たに設置され7施設（46%）に増加した

2.運用手順とマニュアルの見直し

3.カンファレンス、電子カルテの付箋機能の活用、ACP共有ツールの作成

4.職員へのACP広報、情報共有

3. 地域への広報 問題点 (P)

| 実施計画における問題点(P) | 施設数 |
|-----------------------------|-----|
| 1.ACPについて患者・市民への情報提供が出来ていない | 4 |
| 2.ACPの相談件数は0件である | 1 |

3. 地域への広報 実行 (D)

2021年3月まで

| 実行 (D) | 施設数 |
|---|-----|
| 1.患者・家族向けのACP案内用紙を作成した (入院時に配布予定) | 1 |
| 2.市民講演会を行った | 1 |
| 3.ACPの手引きパンフレットを外来・玄関ホール・総合受付に設置 | 1 |
| 4.病院広報誌の緩和ケアチーム特集の中で私の心づもりや相談窓口について広報した | 1 |
| 5.院内無料放送にて、ACPの動画を上映している | 1 |
| 6.ACPのポスターを3か月おきに更新し、院内掲示している | 1 |
| 7.臍臓がん教室にて、ACPについて話題提供する | 1 |

3. 地域への広報 改善 (A)

改善 (A)

1. 院内掲示・ホームページなどで引き続き広報を行う
2. 人生会議の問い合わせについて集計し、分析する
3. 市民向けの講演会を、引き続き開催する

3. 地域への広報 まとめ

1. 患者へのACP周知・普及活動
入院案内と共にACPの案内用紙を配布、
ポスター掲示、動画の活用、院内広報誌など
2. 市民向け講演会の企画

IV. 実施内容

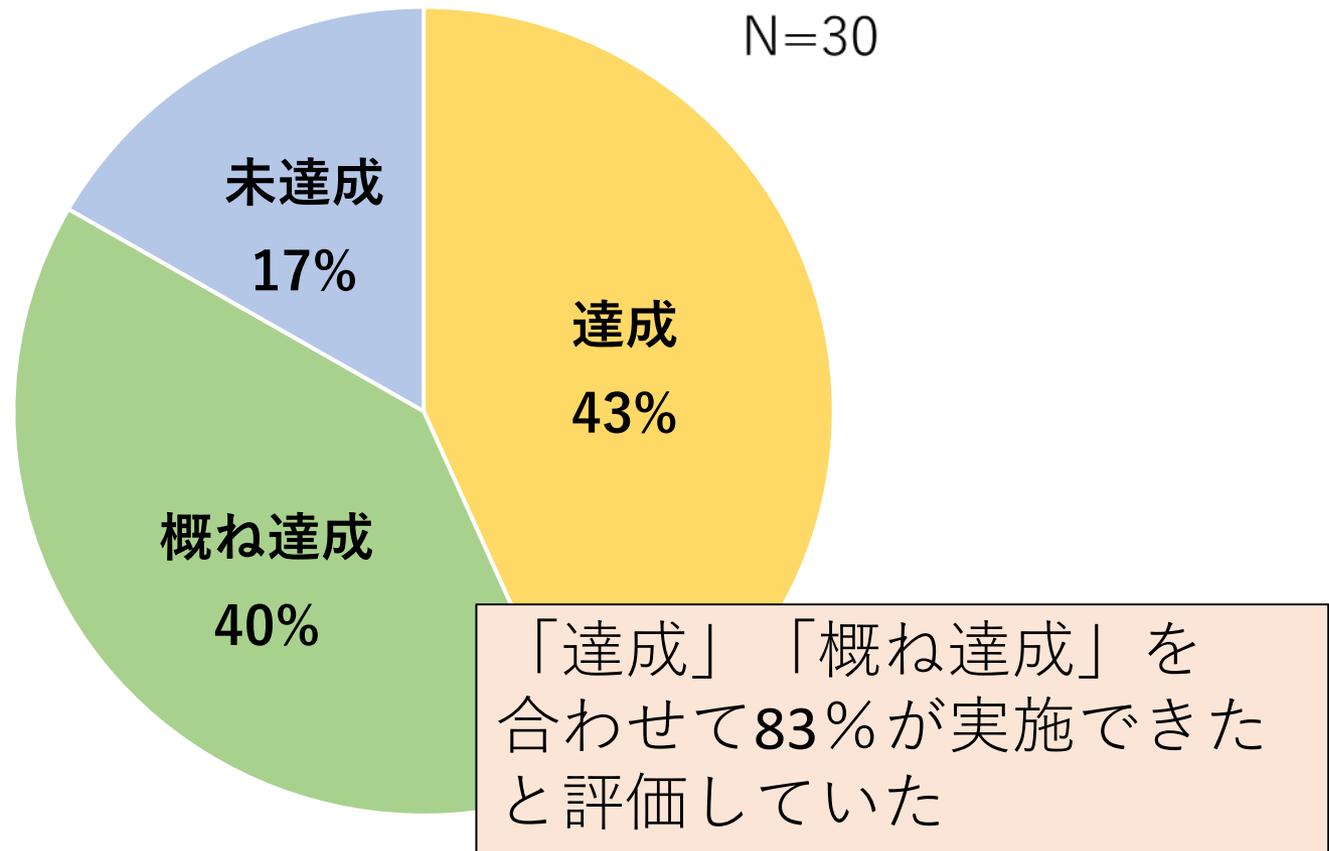
IV-1. アンケート集計結果

IV-2. 課題に対する取り組み (P・D・A)

IV-3. 課題についての他者評価 (C)

他者評価 (C)

方法：1施設に対して、2施設からの他者評価を得た
(15施設×2回答 C評価における区分)



V. 結語

2020年度の広島県がん診療連携協議会のPDCAのテーマは「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」とした。

各施設がACP推進に向け方策を立てて実施し、改善案を示すことができた。多くは、院内教育、院内組織・基準の整備、地域への広報に取り組み、成果を得ていた。これを機に各施設でPDCAを廻し、地域住民へのACPの普及と「ACPを含めた意思決定支援」に関する知識の底上げ及び実践レベルの向上につなげていきたい。

VI. 各施設のPDCAサイクル実施計画・管理表

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|---|---------|--------|------|----------|-------|-------|------|-------|----------|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| <div style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>各施設のPDCAサイクル実施計画表 をご参照ください</p> </div> | | | | | | | | | |

令和 2年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和 3年3月26日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|----------------------|--------------------------------------|--|----------|--|-------|---|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 広島大学病院 | ACPの院内での推進に対する具体的取組み | ACPを推進する院内組織がない | 緩和ケアチームが中心となり、現在積極的に実施している部署の多職種とWGを立ち上げる | 12月 | 緩和ケアチームを中心に組織の構成員、WGの開催方法について検討している。 | 達成 | 【尾道総合病院】WEB（ZOOM）にて意見交換 ・ACPがまだまだ定着できていない現状で、院内に周知していくシステム作りに着目され「組織作り」をテーマにされています。 ・やみくもに広報・情報発信するのではなく、継続的に対応できる仕組み作りに取り組みられています。 ・ACPを推進する組織作りに着手されており、スタッフ選出を進めておられる。並行してコアに活動するWGの進め方についても検討され、体制作りを着々と進められています。 ・「大学病院」と言う大組織で取組みを推進する事に御苦労されている様子が伺えます。その中で、ACPに興味を持ってもらえる診療科に特に力を入れてアプローチする等、工夫されています。 ・今後、病院全体への働きの方法について更なる検討・工夫が必要をお考えです。 ・専門的講義が行えるよう 指導者育成のためe-field (『本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会』)を受講され講義の準備を進められている。 ・実際の講義については、今後の課題とお考えです。 ・個別対応する際に、ACPを話題に挙げるタイミングについて、システムティックに行う事は難しいとお考えで、個々に熟考して情報提供されるなど、配慮ある対応をされています。 | 継続 | ・引き続き、病院全体にACPを普及・推進するための組織作りに取り組む。 (①～③までを上半期を目途に実施) ①WGメンバーの選出 ②活動内容の検討・活動開始 ③治療中の患者に向けた、ACPのパンフレット作成 (④～年度内に実施) ④院内全体に向けた広報の検討 ⑤e-fieldの学びをフィードバックする。 ・リンクナース対象の研修 |
| | | ACPの研修会は現在は年1回開催されているが、院内医療者の参加は少ない。 | 院内医療者や医師が参加に興味を持ってもらえるように研修会を新たに企画する。研修会案内のポスターだけではなく、会議などで広報し、参加を促進する | 2月 | 2/5在宅緩和ケア研修会開催予定（Web開催予定）テーマ「治療とケアのゴールを話し合う」として神戸大学緩和支援診療科の木澤義之教授の講演を企画した。院内に研修案内のポスターを掲示し、電子カルテの通達欄への掲載、がん関連の会議での広報を行った。連携する在宅療養支援診療所にも広報し、106名の参加があった。 | | | | |
| | | ACPを推進する指導者の育成 | 指導者育成のためe-field(『本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会』)に緩和ケアチームから参加予定 | 2月 | 12/6 緩和ケアチーム医師2名、看護師1名が参加した。 | 達成 | 【安佐市民病院】 ●緩和ケアチームが積極的に取り組まれている様子がわかります。今後どのように進めていられる予定なのか、計画などあればまたご教示いただきたいです。 ●講演会の企画がスムーズに行えており、当院としても今後そのノウハウを参考にさせていただきたい。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年2月24日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|---------------|-----------------|-------------------------|----------|---|-------|--|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 県立広島病院 | ACPが十分に行えていない | 院内でのACPの周知が不十分。 | 院内で周知を図っていくよう関係部署と協議する。 | 今年度中 | 1-1 研修会 ①2020年12月に開催された「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」に医師1名・看護師2名が参加した ②緩和ケア研修会の開催（医師・研修医参加） ③「看護師対象」の事例検討（3事例）・意思決定支援の研修会の開催（3回）・看護協会配信WEB研修会（同じ内容を2回：計6回）開催 1-2 ACPの周知 ①ACPのパンフレットの設置場所の現状確認（がん相談支援センター・臨床腫瘍科に設置） ②全外来部門にも設置について相談予定 | 概ね達成 | 【呉共済病院】 研修参加の職種が医師と看護師に限られており、院内の周知まで至っていないのではないかと思います。また、ACP周知活動はパンフレットの設置確認と相談予定のため、具体的対策が立案できればよいと思います。 | 継続 | 今年度は医療従事者に向けての情報提供のみであったため、次年度は患者に向けた情報提供を検討する。 外来待合室のTVなどを利用する、ACPのパンフレットの設置など、患者や家族に、ACPの情報が伝わりやすい方法を検討する。 |
| | | | | | | 概ね達成 | 【中国中央病院】 コロナ禍の影響を受け、研修実施が困難であったと思いますが、集合研修やWeb研修など、具体的に取り組んでおられると思います。引き続き、ACPの周知、そして実際の支援に繋がっていくよう、取り組んでいかれると良いかと思います。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入
 C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年 3月16日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|----------------|--------------------------------|---|--------------|--|-------|---|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 広島市民病院 | ACPの医療者・患者への周知 | ACPに関する知識が浅い 共有するツールがない | 1) 研修会の計画 | 1) 2021年6月 | 1) 2020年8月14日 ACP研修会（講師：飯塚病院緩和ケア科 緩和医療学会理事 柏木秀行先生）を企画していたが、新型コロナウイルス感染症のため中止。令和3年度に研修を延期。感染症対策としてハイブリット型の研修とし5月にWeb配信できるよう準備・調整。 | 概ね達成 | 【県立広島病院】 1) コロナ禍で予定通りの研修開催が難しい中、次年度に予定変更され、すでに調整されているのは素晴らしいと思います。 現在準備調整中であるため、未達成とさせていただきます。 | 継続 | 1) 感染症対策を十分にを行い、ハイブリット型の研修としWeb配信もできるよう準備・調整を行う |
| | | | 2) ACPリーフレットの外来への配置・院内へのポスター掲示 | 2) 2021年3月まで | | | | | |
| | | | 3) 電子カルテ内のACP記録の基準作り | 3) 2021年3月 | 3) 電子カルテのACP記録については「HOPEEGMAIN-GX」の付箋機能使用を検討中。ACPは価値観や思いなどと概念が抽象的であるため、ACP記録の項目を抽出中。記録内容については付箋機能活用方法やACP記録項目について明文化する。 | | 3) 付箋機能を活用し情報共有されるのはよい取り組みと思います。なされるまでの明文化が大変だと思いますが、頑張ってください。 現在実施途中であり、未達成とさせていただきます。 | | 3) 3か月後に付箋内容を確認し、院内で活用できるか評価検討予定。 |
| | | | 4) 院内動画チャンネルにACP推進の動画（厚生労働省作）を組み込み啓もうする | 4) 2021年3月まで | 4) 3月より院内無料放送にて動画を上映予定。動画の作成、総務課協議・調整中。 | | 4) 2)-②のリーフレットの中止、動画案内を変更されることは、紙面より動画の方がわかりやすいと思えるため、よりよい変更になると思います。協議調整段階に入っており、概ね達成されていると思います。 | | 4) 人生会議（ACP）の問い合わせについて集計を行う。 |
| | | | | | | 概ね達成 | 【東広島医療センター】 ・新型コロナ対策により、計画の修正等大変だとは思いますが多くの医療者・患者へ周知が行えるよう取り組みの継続をお願いします。 ・2)および4)の動画を活用した取り組みについては、当院の今後の活動の参考としたいので、ノウハウをご教示いただければ幸いです。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入
C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月31日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|------------|--------------------|--|---|---|--|--|--|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 広島赤十字・原爆病院 | 院内職員のACPIに関する知識の向上 | 1. ACPIに関する認識にバラつきがある | 1. 院内職員対象に対し、ACPIに関する認識を深める | 10月 | 10月22日、全職員対象の研修会を実施。 講師：ほ一むけあくクリニック 小西太先生 | | 10月22日、地域の医療機関にも案内し、「私の心づもり」の活用を中心に研修会（院外はWeb研修）を実施した。参加者数：116名（院内：96名、院外：20名）アンケート結果では満足等高く、評価はよかった | 継続 | <ul style="list-style-type: none"> ・全病棟、外来看護師や緩和リンクナースに対し、ACPIに関するレクチャーを行った。そのため、看護職員の知識・意識の向上ははかれたと考える。しかし、ACPの実践レベルまでには到達できておらず、引き続き、緩和ケアリンクナースの教育は必要である。また、看護管理者への教育も進めていく必要がある。 ・研修会の参加は看護師以外の他職種の参加率は全体の30%と低いため、引き続き院内全体の意識・知識の向上を図る取り組みは必要であると考え。 ・生活のしやすさに関する質問票の稼働は今年度実施できた。次年度はその評価をし、課題を明確にし、取り組む必要がある。 |
| | | 2. ACPIの実践ができていない | 2. 緩和ケアリンクナースをオピニオンリーダーとしてACPIに関する教育を行う | 12月 | 会議でACPの理解の促進、患者の対応方法について講義をした | | 緩和ケアリンクナースに対し、ACPの概要やACPの進め方について説明をした | | |
| | | 3. ACPが実践できる体制を構築する 1) ACPを含めた内容を盛り込み、「生活のしやすさに関する質問票」の改定版を作成する 2) 改訂版の「生活のしやすさに関する質問票」を運用する | 6月～12月 | 1) 生活のしやすさに関する質問票にACP項目を追記した 2) (1)12月8日、リンクナースに運用手順について説明した (2)生活のしやすさに関する質問票をもとにACPの進め方、運用について、各病棟へ出向いて説明を行う 3) 各病棟へACPIについてレクチャーをした | 1) 改訂版の「生活のしやすさに関する質問票」を作成した 2) (1)左記のとおり、実施した (2)、(3)12月～1月にかけて実施した | | | | |
| | | | | | 達成 | 【広島市民病院】 職員対象の研修会の実施や患者向けに質問票の項目追加が計画通り実施されている。 | | | |
| | | | | | 達成 | 【JA広島総合病院】 1. 研修会を実施しACPに関する認識を深めるようにしており、目標は達成とする。 2. ACPの講義を通して教育・指導できているため、目標は達成とする。 3. 「生活のしやすさに関する質問票」を改訂し、運用できるように体制整備しているため、目標は達成とする | | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和2年9月17日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|-------------|---|------------------|----------|---|-------|---|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 安佐市民病院 | ●院内のACP体制構築 | ●ACPについて話し合う場、タイミング、電子カルテ記載方法などルールが統一されていない | ●院内で統一したルールを作成する | ●今年度中 | <p>●ACP情報共有ツール作成し、2020.8～9にパイロット運用を行った。 実施者：がん関連認定看護師、緩和ケアリンクナース、緩和ケアチーム 件数：28件</p> <p>●パイロット運用後の意見をもとに聞き方マニュアルを作成</p> <p>●パイロット運用結果及び作成した聞き方マニュアルについて2021.1に院内の緩和ケア委員会及び退院支援委員会を通じて報告・広報し、各部署へ周知</p> | 達成 | 【福山医療センター】 ACP情報共有ツール作成後、運用し、さらに聞き方マニュアル作成、院内周知までされており、1年間でACPの実践に向けて着実に進められていると思います。 | 継続 | <p>●診療科別、外来・入院別などで実績を集め、評価及び分析を行う。（作成した聞き方マニュアルの随時改定に役立てる）</p> <p>●一つ一つのケースについて評価を行いながらそれぞれの部署とディスカッションを行い、質の向上を図る。</p> <p>●緩和ケアリンクナース及び退院支援リンクナースと事例検討を行い、リンクナースの質の向上を図る。</p> <p>【質問に対する回答】 ●対象患者はがんに限らず、非がんの患者も対象としました。</p> <p>●当院独自で作成しました。各施設においてご検討ください。</p> |
| | | | | | | 達成 | 【福山市民病院】 院内での問題点の改善のために、計画的に院内ルールを作成し一部運用されていることは評価できる。 パイロット運用対象者は看護師が中心ですが主治医との連携はなかったのでしょうか。また、今回ACPを行った対象者はどのような方なのでしょうか。 短期間で『聞き方マニュアル』が作成がされ今後の運用に役立つと思われますが、マニュアルは独自に作成されたものなのでしょうか、何か参考にされたツールなどがあるのでしょうか。 当院でも参考にさせていただきたいので教えていただければ幸いです。 | | |

（注）実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月25日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|------------|----------------------|--|----------------------------|-----------------|--|-------|--|-------|--|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| J A 広島総合病院 | 医療従事者の意思決定支援の理解や経験不足 | <ul style="list-style-type: none"> 院内の多職種が意思決定支援の必要性について理解していない ACPを知らない | ACPを含めた意思決定支援についての研修会を開催する | 年度内（コロナの影響にもよる） | 「わたしのこころづもり～アドバンス・ケア・プランニングとは～」のテーマでポスターを作成し院内ロビーに掲示した。（院内ポスター展） | 概ね達成 | 【呉医療センター】 ・新型コロナウイルス感染症流行の影響で研修会は開催できなかったが、研修会を開催する予定であったので、概ね達成とした。 | 継続 | 今後、ACPIについてレクチャーを行う。地域主催の研修会（人生会議サポーター）の多職種参加を促す。看護部は電子媒体での研修を行っているACPIに関するテーマは受講を勧めていく。 |
| | | | | | 8月にACPIについてレクチャーを院内で予定していたがコロナの影響にて中止となった。 | 未達成 | 【尾道総合病院】 ・ACP周知のためのポスターを作成され、患者さん・院内多職種に知ってもらう努力の姿勢が見て取れます。 ・ポスターを観られた方々の反応（意識変化）までは察することができませんが、良い影響・刺激になっている事を願います。 ・また研修会を企画され、意思決定支援の必要性・重要性およびACPを知ってもらう取組みをされている様子が伝わってきます。 ・コロナ禍のため中止せざるを得なかったのは悔やまれます。 | | |

（注）実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月25日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|---------|---------------------------|---|--|----------|--|-------|--|-------|------------------------------------|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 呉医療センター | 医療従事者に対する教育及び市民への情報提供について | ACPを適切に実施するために必要な院内の医療従事者への教育ができていない。また、ACPを実施するためには患者のACPに対する理解が必要であり、市民への情報提供が必要であると考えます。 | 院内の医療従事者への研修の計画及び実施。※研修実施は来年度の予定。市民への情報提供について検討。 | 令和3年2月 | 院内の医療従事者への研修の計画の検討は継続中。市民への情報提供については、来年度、がん患者向けに講演を実施予定。 | 未達成 | 【呉共済病院】 医療従事者研修も市民への講演も今年度実施されていないため、未達成とさせていただきます。 | 継続 | 医療従事者への研修及び市民向けの情報提供について引き続き検討を行う。 |
| | | | | | | 未達成 | 【中国中央病院】 検討された内容について、記載があるとよいかと思えます。コロナ禍の影響を受け、研修の開催など難しい状況であったと思えます。来年度の研修実施に向け、引き続き、ACPについての取り組みを継続して行ってください。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月25日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|-----------|-----------|---|--|----------|--|-------|--|-------|--|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 東広島医療センター | ACPの周知・普及 | <ul style="list-style-type: none"> ACPに関して効率的な患者へのアナウンスができていない。 院内スタッフのACPに関する知識、理解が不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> ACPに関する院内のポスターの掲示を増やす。 医師に患者や家族へACPのパンフレットを配布することを呼びかける。 外来や病棟、がん相談支援センターでACPに関するパンフレットを患者や家族に配布する。また、ACPに関する相談窓口として、がん相談支援センターがあることを案内する。 院内の研修において、ACPについて説明する。 | 今年度中 | <p>ACPの周知・普及活動のためのワーキンググループを結成し、「人生会議」のポスターを外来、病棟各フロアへの掲示を増やした。</p> <p>患者、家族へ配布するACPの案内用紙を作成した。案内用紙にACPの相談窓口として、がん相談支援センターを明記し、入院時の案内冊子と共に配布を開始予定。</p> <p>患者や家族から相談がある場合や、医師が必要と判断した場合は、広島県作成のパンフレットを手渡せるよう、各部署に常備する。患者、家族からACPに関する文書を受け取った場合、医療者で共有して必要に応じてカンファレンスを行うこととする。これらを含む院内運用手順を作成したため、スタッフへ周知していく予定。</p> | 未達成 | <p>【中国労災病院】（達成できている点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内ポスター掲示の充実。 案内用紙へのがん相談支援センター明記。 院内運用手順の作成。（今後実施予定等） ACP案内用紙の配布。 院内運用手順の周知。 知識、理解を深めるための院内研修。 | 継続 | <p>前回の計画・管理表提出後、院内運用手順を周知し、入院時の案内冊子と共にACPの案内用紙の配付を開始したところ、患者から相談が複数件あり、広島県作成のパンフレットを手渡しできたので今後も継続して取り組みを行う。</p> <p>院内研修については、効果的に院内スタッフの知識、理解の向上を図れるようにeラーニングツールの利用など継続して取り組む。</p> |
| | | | | | | 概ね達成 | <p>【広島赤十字・原爆病院】患者家族へのACPに関するアナウンスについては計画通りに実施されています。</p> <p>しかし、院内のスタッフのACPに関する説明がまだ十分にされていませんが、今後予定にされているため、進められるとよいと思います。</p> | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入
C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月19日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（案）（A） | |
|--------|--|--|--|---------------------------------|---|-------|---|----------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 尾道総合病院 | <p>医療従事者へのACPの意識付けが必要。</p> <p>（意思決定支援を行う際に、ACPの要素を含める習慣づけが必要。）</p> | <p>・がんサポーターボード運営会議にて「ACPへの取組みが必要である」と認識し、全体取りまとめを行っている。</p> <p>・膵がん教室での講義や、がん看護委員会での看護科としての取組み方の検討、緩和ケア外来での日常診療など、取組みは実施しているが、単発的になっている。</p> <p>・意思決定支援を行う場面は多々存在するが、医療従事者が未だACPを十分に理解・意識できていないため、ACPを含めた意思決定支援が十分にできていない。</p> | <p>・意思決定支援を行う部署・チームに（診療部・看護部・薬剤部・がん相談支援センター・緩和ケアセンター・認知症サポートチーム・NSTなど）</p> <p>各部署・各チームで取組み可能な「ACPを意識した活動」を考えてもらい、部署内・チーム内で実践してもらう。</p> <p>・特にがん相談支援センター及び緩和ケアセンターを中心に着手する。</p> <p>・取組み状況については、がんサポーターボード運営会議で取りまとめ、総括する。</p> | <p>2020年10月～</p> <p>2021年1月</p> | <p>【がん相談支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常面談においてACPを話題に挙げながら面談する。（広島県対協制作パンフレットを配布） ・膵臓がん教室にてACPについて話題提供する。 <p>【緩和ケアセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政との連携・協力・・・地域包括ケア推進協議会・地対協にて講義を行う。 ・一般市民向け・・・市民公開講座（2月）にて講演を行う。 ・院内職員向け・・・ACP講義資料の作成、ACP講義を行う。 <p>・がん看護外来にて、今後の診療や療養の在り方、終末期の過ごし方などを相談している</p> <p>【その他】</p> | 継続 | <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【がん相談支援センター】 ・日常面談で話題に挙げたものの、その場での情報提供に留まり、継続性に欠けていた。 ・ACPの本意から考えると継続的な関わりから意思決定支援に繋げる必要があると感じる。 ・集合での膵臓がん教室の実施が中断されているが、病院ホームページを活用しwebにて講義資料を公開した。一定の話題提供の効果は有った感じる。 【緩和ケアセンター】 ・緩和ケアセンター長が該当地域内の地域包括支援センター等職員向けにACPIに関する講義を実施。 ・市民公開講座がコロナ禍のため中止となり、ACPIに関する講演も実施できず。 ・がんチャリティーイベントのリレー・フォー・ライフ広島にてweb講演で緩和ケア・ACPIについて講演を行った。 ・専門職向けに講義を実施するにあたり、緩和ケアセンター長が広島県が実施する「広島県ACP普及推進員（仮称）養成研修会」を受講。講義・資料作成の準備を進めている。 【その他】 ・その他関係部署（薬剤部・認知症サポートチーム・NSTなど）への働きかけができず次年度への継続課題となっている。 | 継続 | <p>【がん相談支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内にて継続して情報提供を進めて行く。※webでの動画配信になる可能性あり。 ・令和3年度の市民公開講座が実施可能であれば、今年度同様に講演の実施を計画する。 ・職員の意識向上のため、研修会・講演会を計画する予定。 【その他】 ・関係部署へも波及するようがんサポーターボード運営会議から働きかけていく。 |
| | | | | | | 達成 | <p>【広島大学病院】</p> <p>意思決定支援を行う部署・チームが改善に向けて取り組めるように働きかけができていた。各部署で考え、取り組むことで、実施可能な行動につながったと思います。</p> <p>がん相談センター、膵臓がん教室で、ACPを意識し、会話の中に取り入れるように意識づけができています。WEBでの意見交換の際に、肝がん教室などでもACPへの取組みを考えているということなので是非実行していただければよいと思います。</p> | | |
| | | | | | | 概ね達成 | <p>【JA広島総合病院】</p> <p>ACPIについて話題提供、地対協での講演や市民公開講座、ACP講義は実際に行われたのでしょうか。</p> | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入
C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月26日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|---------------|---|---|----------|---|-------|--|-------|--|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 福山市民病院 | 全職員がACPを理解できる | 1、ACPを理解していない職員がいる 2、部署によってACPの理解レベルに相違がある 3、研修や討議など共有の場がない | 1、全職員を対象とした認知度アンケート調査 2、全職員を対象とした研修会の開催 3、研修後のアンケート調査 | 今年度末 | 1、10月21日～11月5日の期間で全職員を対象としたアンケートを実施した。結果、対象者929名中、有効回答数861名分であった。アンケート集計後、分析を行い、院内報告を行った。次年度以降も継続して取り組むこととする。 2、院内での認知度が17%程度というアンケート結果を受けて、まずはACPを知ってもらうことが重要と判断した。現在、ACPの認知度向上を目指し研修の企画を立案中。開催は次年度になる予定。実行方法についても検討中で、各拠点病院のご意見を参考にさせていただきたい。 3、研修前の認知度アンケート調査結果を全職員にお知らせする。研修前の基礎知識としてACPの手引き「私の心づもり（広島県地对協作成）」を全職員で共有するための準備中。研修後のアンケートは、研修実施後におこなう予定。アンケートの内容は、基礎調査として行った、認知度調査アンケートよりも掘り下げたものにする。 | 達成 | 【安佐市民病院】 ①アンケート回収率が9割と高く、まずは院内のACP普及に向けて一つのステップを踏まれていることがわかる。 ②認知度を上げるための研修会も立案されており、積極的に取り組まれている。 ③アンケート資料の「結果・分析と考察」の、「その他」に、地域が担当するACPIについての指摘があり、これについて貴院ではどのように啓発していかれるのか、今後の取り組みに期待します。 【質問したいこと】 研修参加率を上げるための周知方法はどのように考えておられますか？また研修方法はどのような方法で行う予定ですか？ | 継続 | ・研修会の実施形式（案）は次のとおり ①講師は院外の先生に依頼 ②時間は30分程度でそれを2コマ（計60分） ③それを動画で撮影 ④職員各自が都合のいい時間に視聴できるよう、電子カルテ内の研修システムにその動画を置き、各自都合の良い時間に受講。 ⑤研修動画視聴後に再度の意識調査アンケートに回答。（このアンケートも電子カルテ内の研修システムに置き、このアンケートの提出をもって受講完了とする） ⑥研修の案内は、電子カルテ内の情報共有にて複数回案内し周知。 まずは、このような研修を行い院内の意識改革をすすめる。そしてその結果をアンケートによって分析し、意識改革の度合いを計り、次のアクションにつなげるという流れで今後もPDCAを実施する。 |
| | | | | | | 概ね達成 | 【三次中央病院】 ①全職員を対象としたアンケートの実施により、問題点が明確化されている。 ②アンケートの院内報告を行い、アンケート結果を院内で共有している。 ③「緩和ケアセンターの結果分析と考察」からは、「認知度」「実践」「研修希望」の観点から広く大きな示唆が得られており、当院も参考にさせていただきたい。 ④ACPの認知度が低い結果をもとに、研修前の基礎知識としてACPの手引きを全職員で共有する準備を進めている点は高く評価できる。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月25日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|----------|-----------------------|--|---|-------------|--|-------|--|-------|--|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 市立三次中央病院 | 意思決定支援に関する指針の運用方法の策定。 | 令和2年9月1日から意思決定支援に関する指針を施行し、院内Webに周知した。指針を作って周知するのみでは、指針に沿った行動ができないと思われる。更に職員のACPIに対する意識を高め、指針に沿った行動ができるようになる必要がある。 | 職員の意識を高め、ACPへの関心を高めるために、ACPIに関する職員研修会を実施する。 | 令和2年10月～12月 | 令和3年1月7日に今年度策定した「市立三次中央病院における適切な意思決定支援に関する指針」についての研修会（ACP研修会）を実施する予定であったが、1月初から三次市内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、PCR検査対応・PCR患者受け入れが多くなり院内での研修会ができる状況でなくなった。また、広島県の第2次新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策に合わせて、2月7日まで院内での研修会が原則実施できなくなっている。1月末現在、実施時期を調整中。 | 概ね達成 | 【呉医療センター】 新型コロナウイルス感染症流行の影響で研修会は開催できなかったが、研修会を開催する予定であったので、概ね達成とした。 | 継続 | 評価にあったように、今後もこの活動を継続し、ACPIに関する職員研修会を集合研修形式で新年度早期に開催する予定で準備を進めている。 必要に応じて、県内の新型コロナウイルス感染拡大状況を確認しながら、オンライン開催の検討・実施をしていきたい。また、研修会の実施前後のアンケート調査の実施およびACPIに対する関心等への評価を行っていきたい。 |
| | | | | | | 未達成 | 【福山市民病院】 既に意思決定支援に関する指針を作成されており、組織としての意識の高さがうかがわれます。しかし現段階で、研修会未実施のため「未達成」とさせていただきます。 1月実施予定であった研修準備はどの程度行われていたのでしょうか。今後の実施予定は計画されているのでしょうか。現在集合研修が難しいと思われませんが、別の方法も考えられているのでしょうか。また、職員の意識の向上、ACPへの関心を今後どのような方法で評価されるのでしょうか。当院でも参考にさせていただきたいので教えていただければ幸いです。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月22日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|-------|--------------|----------------------|--|------------------|--|-------|---|-------|--------------------------------|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 呉共済病院 | 院内におけるACPの普及 | 1. ACPを推進する院内組織がない | ACPを推進する組織の設置と体制・役割・運営方法等の明確化 | R2年10月 | <p>1. がん診療委員会の下部組織として令和2年10月19日にACPワーキンググループを設置する。メンバー児玉医師、田原医師、看護師（佐々木、胡濱、神開）、緩和ケアCN宮下、がん相談支援センター員反田、MA納）</p> <p>役割：院内におけるACPの普及活動 運営：月1-2回会議で検討</p> <p>2. ①未実施 ②「ACPの手引き」パンフレットを外来や玄関ホール・総合受付へ設置している</p> <p>3. ①アンケート(Web形式) 12月15日20日(768名対象) 12月21日回答データ収集(267名：回答率35%) ②研修会実施 Web研修12月21日17時（多目的ホール）視聴73名 学研ナーシングサポート ACPのコツ～人生の最終段階に向けた患者の意思決定を共有する～ 講師：神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科特命教授木澤義之先生</p> | 達成 | <p>【県立広島病院】 1 院内の組織としてACPワーキンググループを設置し、活動されている。役割の明確化や会議の定期的な開催や活動されており、十分な達成されていると思います。 2 窓口の設置はされていないが、情報提供は行われている。組織的に活動されているため、残された課題はあるがACP推進の広報は概ね達成されていると思います。 3 職員対象にアンケート調査を実施し、貴院の現状把握が行われています。その現状を把握した上で研修会を開催されている。視聴者が1割とありますので、可能であれば複数日の開催であれば視聴者が増えたかもしれません。視聴者の参加職種が把握できるのであれば、今後の対策につながるのではないかと愚考しました。完璧な実施計画で十分に達成されたと思います。</p> | | 1. ACPに関する相談窓口の紹介（HPやポスター）の実施。 |
| | | 2. ACP推進の広報が行われていない | <p>広報の実施 ①組織や窓口の紹介（HPやポスター） ②ACPについて知ってもらう資料提供</p> | R2年11月 | | 概ね達成 | | | |
| | | 3. ACPに関する教育が行われていない | <p>①ACPに関する職員の認知度調査による現状把握 ②職員への研修会実施</p> | R2年11月 R2年12月 | | | | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ2つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月26日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|----------|-----------------------------|----------------------------------|--|----------|--|--|---|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 福山医療センター | 医療者のアドバンスケアプランニングについての知識の普及 | アドバンスケアプランニングについて正しい知識をもつ医療者が少ない | アドバンスケアプランニングについての勉強会及び資料配布（医局会や看護部、リンクナース会等で） | 12月までに | 11月10日、看護師を対象に「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）って何？」という研修をがん専門看護師を講師に1時間で行った。参加者は18名であった。引き続き同様の取り組みを行う考えであったがコロナウイルス蔓延のため集合での研修が困難となり現時点では実施できていない。コロナウイルスの流行が落ち着いた時点で医師も含めた多職種に、資料配布などでACPを周知していきたい。 | 概ね達成 | 【広島市民病院】 11月に看護師対象にACPに関する研修を行っているが、コロナ禍の影響により多職種研修が行えていないため、目標は概ね達成とした。 | 継続 | 医療者のアドバンスケアプランニングについての知識の普及を引き続きおこなっていくため、研修の企画、資料配布を行っていく。また、医療者のアドバンスケアプランニングの認知度調査についても検討していく。 |
| | | | | | | 【東広島医療センター】 新型コロナ対策により、集合での研修は困難だと思いますが、資料配付など実現可能な方法でACPの周知を行い、正しい知識をもつ医療者が増えるよう引き続き努めてください。 | | | |

（注）実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月29日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|-------------------------|--|--|--------------------------|--|-------|---|-------|---|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 中国中央病院 | 医療者、患者・家族に向けたACPについての広報 | <p>・ACPについて、患者や家族から相談を受ける窓口（がん相談支援センター）を設置しているが、周知活動ができていない。現時点で、ACPに限定すると相談件数は、0件である。</p> <p>・ACPについて、医療者の認識にバラつきがある。</p> | <p>①病院広報誌へACPについて、また当院での取り組みについて掲載し、周知を図る。</p> <p>②ACP・意思決定支援について院内研修会を開催（コロナの影響あり、個人での動画視聴）</p> | <p>①1月初旬</p> <p>②1月中</p> | <p>①病院広報誌「青いそら」2021年正月号、緩和ケアチーム特集の中で、ACPについて、広島県地域保健対策協議会にて作成されたACPの手引き、私の心づもりについて、またパンフレットの院内設置場所、相談窓口について情報を記載し、患者・家族へ向け周知を図った。</p> <p>②動画視聴による研修を開催した。</p> <p>テーマ 「緩和ケアとアドバンス・ケア・プランニング」 講師：木澤義之先生 対象：病院全職員 期間：11/16～12/31 Web研修について各部署へ案内を配布 視聴率 ・医師：51% ・看護師：94% ・他スタッフ：98%</p> | 達成 | 【広島赤十字・原爆病院】 計画通りに研修会やパンフレット等を利用し、広報はでき、意識は高まったことが推測されます。 | 継続 | 院内掲示・病院ホームページなどで、引き続き広報活動を継続。今後は、ACPが実践できるよう、また地域と連携が図っていけるよう体制の整備、及び医療スタッフへの教育を行う。 |
| | | | | | | 達成 | 【広島大学病院】 今年度は広報活動に取り組み、院内外に向けての活動が明確にされており、計画通りに実施されています。 院内への広報については、動画視聴にしたことで、看護師や他のスタッフの視聴率は高く、医師も半分以上視聴できており、職員の関心の高さや広報活動の成果がうかがえました。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和 2 年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ：「アドバンスケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援」に関する取り組み

令和3年3月29日現在

| 病院名 | 実施計画（P） | | | | 実行（D） | 評価（C） | | 改善（A） | |
|--------|------------------------|--|---|--|--|-------|---|-------|--|
| | 課題名 | 現状の問題点 | 改善方法 | 改善時期（予定） | | 区分 | 実施内容 | 区分 | 次年度へ改善内容 |
| 中国労災病院 | ・ ACPの知識普及のための取り組みについて | ・ 医療従事者のACPに対する知識が浅く、効果的な意思決定支援に繋がっていない。 | ・ 院内の緩和ケアコース研修会においてACPの事例検討を実施する（今年度は研修医年間受講生を対象） ・ 修了後アンケートを実施。緩和ケア委員会で評価を行い、次年度の改善内容を検討する。 | ・ 2020年11月研修会実施予定。 ・ 2021年3月評価、次年度の課題を検討予定。 | ・ 2020年11月25日に緩和ケアコース研修会を実施。 ・ 医師、看護師、薬剤師、理学療法士の計12名が参加。 ・ 修了後にアンケートを実施し、11枚回収。 ・ 研修会の満足度についての回答は「大変満足」「満足」のみであった。 ・ 感想としては、予後の予測の難しさ、患者や家族に病状の進行度を正しく理解してもらうことの難しさを再認識したという意見がある一方、ACP、緩和ケアといった分野を学習する機会が少なかったが、事例検討等で多職種で意見交換ができ有意義であったとの意見もあった。 | 達成 | 【三次中央病院】 ・ 研修医年間受講生を含めた多職種を対象に緩和ケアコース研修会を実施した。 ・ 修了後アンケートの実施により、課題の把握・検討を行い、問題点が明確化されている。 ・ 事例検討の多職種での意見交換は評価できる。 | 完了 | 令和2年度においては研修医年間受講生を対象とした緩和ケアコース研修会を実施し、ACPの事例検討を行うことによりACPの知識を普及させることができた。次年度は職員の異動等もあることから、この取り組みを継続し、さらに多くの医療従事者に対し知識の普及を図る。 |
| | | | | | | 達成 | 【福山医療センター】 ・ 緩和ケアコース研修会のなかでACPの事例検討をされており、参加された方のアンケート結果からもACPの学びを深められていたと思います。今後さらに多くの医療従事者へ広く知識の普及ができる方法を検討されるとさらによいと思います。 | | |

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。